

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 ドローン災害等対応力向上事業

自治体名

愛媛県宇和島市

消防団名

宇和島市消防団

1 事業の目的

本事業は、災害発生時の迅速かつ正確な対応能力を強化するため、ドローン航空隊員が高度な知識・技術・スキルを習得し、国家資格「一等無人航空機操縦士資格」を取得することを目的としています。

2 事業内容

本事業では、国家資格「一等無人航空機操縦士資格」の取得を目指すドローン航空隊員を対象に、座学講習、実技講習・実技試験、身体検査、学科試験を以下のスケジュールで実施しました。

1. 座学講習

日時・場所：令和7年11月28日（金） 9時～17時、宇和島市役所本庁
対象者：受講者全員（計9名）
内容：航空法や操縦技術など、資格取得に必要な基礎知識を対面形式で講義。

2. 実技講習・試験

日時：令和7年12月1日（月）～令和8年1月9日（金）
場所：旧石応小学校
対象者：受講者9名を4組に分け、限定解除講習（目視外飛行、夜間飛行、最大離陸重量25kg以上）を含む実技講習・試験を実施。

3. 身体検査

場所：南松山病院（愛媛県松山市）および鳥田診療所（兵庫県神戸市）
対象者：受講者全員が受検。

4. 学科試験

場所：愛媛県松山市 プロメトリック指定試験会場
対象者：受講者全員が受検。

座学講習の様子



実技講習の様子



3 事業成果

1. ドローン航空隊員の技術向上と資格取得

受講者9名のうち7名が国家資格「一等無人航空機操縦士資格」を取得しました。特に、既存の航空隊員が民間資格（DJI CAMP スペシャリスト）を所有していたため、講習時間の短縮や受験費用の節約に成功しました。これにより、より高度な操縦技能を持つ隊員が災害現場で迅速かつ確かな対応を行う基盤が整いました。

2. 地域防災力の強化

夜間や目視外の飛行が可能になったことで、従来の有人対応では困難だった状況下でも情報収集や災害対応を行える能力が向上しました。特に、道路状況の悪化や津波警報が発表されるような条件下で、ドローンを活用した迅速な現場把握と情報収集が可能となり、災害対応の効率化が進みました。また、大型ドローン（最大離陸重量25kg以上）の運用も可能となり、災害時の物資輸送や広範囲の監視活動など、幅広い活用が期待されています。これにより、地域住民の安全確保に大きく寄与しています。

【うまくいった点】

宇和島市危機管理課、消防団員、委託業者間の円滑な調整により、講習・試験の運営をスムーズに進めることができました。既存のドローン航空隊員の経験値を活用することで、事業の効率化を実現しました。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値
講習会参加者	人数	10名	9名
講習会実施回数	回数	5回	4組に分かれて実施
資格取得者数	人数	10名	7名

5 その他参考情報

- 航空身体検査（マルチコプター）を実施できる病院が非常に限られているため、受験可能な病院の事前調査が重要です。
- 学科試験の難易度が非常に高いため、問題集の購入など対策が重要です。